Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism





令和4年11月18日

「道の駅」を拠点とした中継輸送の新たな実証実験を開始!

~「生産空間」の暮らしと産業を支える物流の維持に向けて~

北海道開発局旭川開発建設部では、令和4年10月17日(月)報道発表のとおり、実証実験にご協力いただける運送事業者を募集した結果、9社から応募がありました。つきましては、以下のとおり実証実験を実施しますのでお知らせします。

- 1 実施日程 令和4年11月21日(月)9時から12月18日(日)13時まで
- 2 実施場所 道の駅「もち米の里☆なよろ」 名寄市風連町西町334番地1
- 3 実施主体 旭川開発建設部・運送事業者9社*(別紙1)
- 4 実施内容 別紙1、2、3のとおり
- 5 現地取材
 - 11 月 24 日 (木) 9:00~14:30 に実証実験の現地取材が可能ですので、取材を希望される方は、11 月 21 日 (月) 15 時までに以下のとおりメールにてご連絡ください。

件名: 【現地取材希望】 「道の駅」 中継輸送実証実験

本 文:氏名(ふりがな)、所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)

送付先(E-mail): hkd-as-info@gxb.mlit.go.jp

(現地取材の詳細については、お申し込み者へ後日お知らせ致します。)

※実験の概要 令和4年10月17日の報道資料は以下のURLをご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/as/release/a0791100000051fv-att/a0791100000071d7.pdf

- %「生産空間」については、以下 URL (北海道開発局ホームページ) をご覧ください。
 - https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/splaat0000013gzk-att/splaat0000013h6g.pdf
- ※本実証実験は、生産空間に関する名寄周辺モデル地域(物流ワーキングチーム)の取組みとして実施するものです。 https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/slo5pa000007uuh.html
- ※運送事業者のうち、ヤマト運輸株式会社とは、令和3年10月に「生産空間の維持・発展に資する連携協力協定」 を締結しています。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

道路計画課 課長補佐 大西 功基 (0166-32-4285) 道路計画課 道路調査官 業 地犬 (0166-32-4285)



旭川開発建設部ホームページ http://www.hkd.mlit.go.jp/as/ 旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit hkd as

「道の駅」を活用した中継輸送の概要

実験概要

〇実験の日程

令和4年11月21日 (月)9時~12月18日 (日)13時

〇実施場所・実施内容

道の駅「もち米の里☆なよろ」名寄市風連町西町334番地1 トラックによる中継輸送(ヘッド交換・ドライバー交換・貨物積み替え)

〇中継輸送の参加事業者

9社(ヤマト運輸(株)*、札樽自動車運輸(株)、(株)ほくうん、(株)ウェーブ、協進運輸(株) 西村運輸(株)、(株)道央通商旭川、五十嵐運輸(株)、(有)眞嶋食品 ※申込順)

※ヤマト運輸株式会社とは、令和3年10月に「生産空間の維持・発展に資する連携協力協定」を締結しています。



これまでの課題・ニーズとその対応について

OR3年度実験参加者へのヒアリング結果



運送事業者B

- ・道の駅は幹線道路沿いに立地し、数も多く中継場所に適切。
- ・実験期間中は、荷物集荷のタイミングが合わず、片荷輸送のケースも あったので<mark>輸送効率を更に高める工夫が必要</mark>だと思います。
- ・トレーラーを保有していない運送事業者も利用できるような仕組みもある といいです。



トラックドライバーA

一般車両と分離した動線や専用の駐車スペース、トレーラーやヘッドの一時 保管スペースがあるといいです。



トラックドライバーB

車両の一方通行化、夜間照明の設置、トラック同士が同時に到着できるための仕組み、駐車スペースの事前予約システムなどがあるといいです。

〇得られた課題・ニーズに対する対応について

- ・昨年度は限られた実験期間での実験であったが、今年度は約1か月間・24時間利用可能な中継輸送スペースを確保した上で、輸送事業者の皆様のフレキシブルな利用実態を検証する。
- ・また、今年度はトレーラーのヘッド交換だけではなく、同じ場所でトラック同士を横付けし、ドライバー交換や小規模荷物の受渡しも可能なスペースとして運用を行う。
- ・今年度は、中継輸送スペースのレイアウトを変え一<mark>般車両との交錯</mark> 機会を抑制したスペースを確保する。
- ・スペースの制約により、トレーラーやヘッドの一時保管スペースはないが、期間中における一時保管ニーズの聞き取りを実施する。
- ・参加する大型トレーラーの車両の動線は一方通行化に配慮しつつ、 夜間での作業を考慮し照明のある場所を用意する。
- ・また、ドライバーがスマホで設定や確認が可能な事前予約システムを 実装し、利便性の向上を図るとともに利用状況の確認を行う。



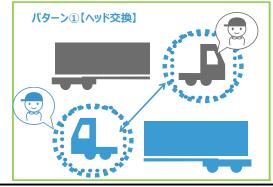
「道の駅」を活用した中継輸送の概要

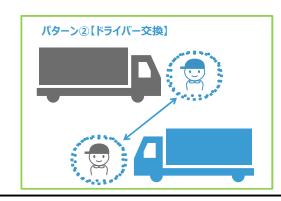


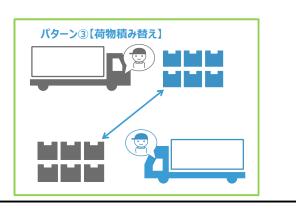


国土交通省

〇中継輸送の実験パターン







〇予約システムのイメージ

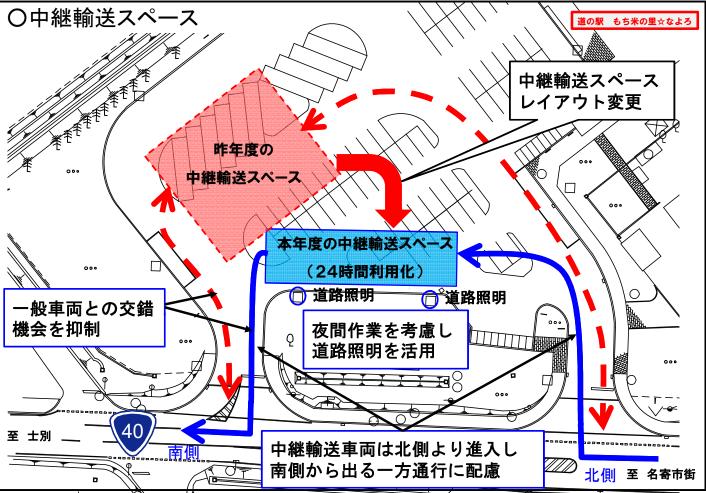
2022-11-30

山田太郎

会員番号







道の駅「もち米の里☆なよろ」の 駐車場ご利用のみなさまへのお願い

実証実験実施のため、下記の期間において、道の駅「もち米の里☆なよろ」駐車場の一部区域への進入・駐車の利用ができません。

ご利用の皆様にはご不便をおかけいたしますが 何卒よろしくお願いいたします。



<駐車場の一部区域が利用できない日時>

- ・令和4年11月21日(月)9時~12月18日(日)13時の期間で規制を実施します。
- ・規制期間中は、24時間規制を実施致します。 上記の期間については、中継輸送実験で使用する区域への進入及び駐車は 出来なくなりますのでご協力をお願い致します。